

## 2024年度 臨時理事会議事録

一般社団法人 栃木県バスケットボール協会

1. 招集年月日 令和6年4月22日
2. 開催日時及び場所
  - (1) 開催日時 令和6年5月8日水曜日午後6時半
  - (2) 開催場所 文星芸大附属高校総合研修センター
3. 理事・監事数及び出席理事・監事数
  - (1) 理事数 28人、特任理事数 2人
  - (2) 出席理事数17 人  
出席特任理事数 2人
4. 出席理事の氏名  
小曾戸和彦、片桐晃、鎌田眞吾、鈴木克美、直井秀幸、渡邊諭、藤本光正、渡邊整、阿久津宏一、大平幸造、小林幹央、益子基久、渡邊明美、菊地宜秀、齋藤宣子、佐藤圭一
5. 出席特任理事の氏名 高橋哲夫、日向野剛
6. 審議事項
  - 第一号議案 R5年度新年会 決算報告の修正について
  - 第二号議案 役員候補者選考委員会より答申
7. 議長の氏名  
小曾戸和彦（会長）
8. 議事経過の要領及びその結果  
会長小曾戸和彦から、本日の理事会は定足数を満たしているので適法に成立する旨告げたのち、会長小曾戸和彦が議長となり審議に入った。  
議長により、定款第30条第2項の規定により次の者を議事録署名人に選任したい旨を述べ、議場に諮ったところ全ての理事の一致をもって次の者が議事録署名人に選出された。  
議事録署名人 齋藤 宣子  
同 佐藤 圭一

### 第一号議案

専務理事より説明

（内容）いったん理事会にてご承認いただいた「新年会の決算報告」であったが、その後修正があったので改めてご審議いただきたい。修正点は、支出の「贈答品代277,920円」のところである。

以上、ご審議願いたいとの説明がある。

大平理事

「私自身、新年会に出席していないので、この贈答品代についてご説明願いたい」

専務理事

「はい。以前理事会で新年会に合わせて、インカレ優勝の白鷗大学男女と、審判関係で、このコロナ禍で昇級のお祝いをして差し上げられなかった審判員と、レフリーオブザイヤーを受賞された渡邊さんお二人のお祝いをさせていただきたいということをご承認いただいたと思います。その中でも、白鷗大学と渡邊さんお二人については規定にのっとり、お祝い金を贈らせていただきたいと理事会の決議にもなっていたと思います。実は、その時に贈答品をお渡ししたいとお話が入ってきまして、お祝い事なので贈答品をいただけるのであれば是非にということで、新年会の贈呈式でもお披露目しましたが、JA全農栃木さんととちぎ食肉センター協力会会長齋田一郎様から皆様へお贈りさせていただいたのですが、その後、私のところに中村さんから話があったのが3月中旬だったかと思いますが、とちぎ食肉センター協力会様からお肉代の請求書が届いているのだがという相談がありました。私の一存ではどうにもできないので、会長に相談してくださいと伝えました。最終的には、3月の29日金曜日、いわゆる年度末の会計決算の締め日にあたる日に齋田副会長より問い合わせのお電話

があり、正当な理由がなく支払われないのであればこちらの顧問弁護士に言い内容証明を送ると言われた。その際に、この件は会長・片桐副会長も承認済みであること、加えて、年度末の締め日にあたるため双方の決算に滞りが生じてしまうこと、何より相手方のとちぎ食肉センターさんにご迷惑が掛かってしまうことを考え、請求書の宛名でもあるスポンサーシップ委員会より振り込みを行ったものである。これについてご審議願いたい。」

大平理事

「この件について、私は承認いたしかねます。」

会長

「本来ですと、この前の理事会にて説明があると聞いていた。しかしながら、何の説明もないまま理事会が終了してしまっただけで、とても不思議だった。その後、理由を聞いてみたところ、白鷗大学の学生の数が多いのでお肉の数も多くなってしまった。もともとJAさんからの現物支給が40万円分あるのだけれども、今までにも現物支給をしていたため、その資金が足らなくなってしまったようだ。ではどこからその費用を捻出するのかとなったときに、スポンサーシップ委員会からではなく協会の会計から支払ったらいいのではないかということになったと聞いている。」

片桐副会長

「会長の話に付け加えさせていただくと、最初、食肉協力会という話があったが、それはおかしいのではないかという話になった。なぜかというところ、協会としてお祝いをしているのだから協会から出せばいいのではないですか？ということをお話すると、またスポンサーシップ委員会とも話しました。事後承諾となってしまったのは申し訳ないが、協会として支出していただくと幸いです。」

鎌田副会長

「贈呈したときは栃木県バスケットボール協会からとなっていたのですか？そこが、一つひっかかっているところではないですか？」

専務理事

「新年会にご出席いただいた方はご存じだと思いますが、白鷗大学さんにはJA全農栃木様より、そして、渡邊お二人に対しては、とちぎ食肉センター協力会会長齋田一郎様よりとなっていました。新年会を開催するにあたって贈答品をご提供くださるということをお聞きしたので、間違えては問題なので、中村さんの方にご提供くださる方のお名前・社名並びに商品名を文書でいただき、それを、当日司会をしてくださった篠田アナウンサーにこの通りに紹介していただきをお願いしました。その後、たぶん3月に入ってからだと思いますが、中村さんから請求書の存在を聞かされました。先ほども申した通り、私の一存では判断しかねるため、会長に相談してほしい旨中村さんにお話ししました。その後、中村さんから会長に話が行き、やはり理事会にかけようとなったようです。残る理事会は3月しかないため、そこで審議にかけようという話を私はお聞きしました。そして次の日だったかと思いますが、中村さんから、齋田副会長の自宅に行って理事会の承諾を得た。しかし、心配なので、会長にも連絡をして改めて会長から齋田副会長に今度の理事会の最後に説明するよう連絡してもらったと聞かされた。しかし、3月の理事会でこの案件が出てくることはなかったので正直驚いた。その後、先ほどもお話ししたように3月29日にお電話があり、片桐副会長にも確認したところ承諾したとおっしゃったので中村さんにその旨お伝えし、振込手続きをしていただいた。」

会長

「私は、3月の理事会で承認をもらえばいいのではないかとお話ししたつもりなのですが、あの時の次第にはこの件の議題が入っていなかったのが不思議ではあったが、終わってから専務理事に確認をしたが、専務理事からは私のほうでは詳しい事情が分かりません。と言われ、私としては今日この場に中村さんか齋田副会長が来て皆さんに説明をすると聞いていたので、そこで承認を得られればいいのではないかという話を中村さんにはしていた。」

#### 専務理事

「なぜ議題に入れなかったのかということ、正式に議題に入れるようどなたからのご指示がなかったのと、いったい誰がこの場にきて説明されるのかも不確かな話だったので、審議事項のその他でお話しされるのであろうと考え、入れなかった。」

#### 片桐副会長

「形的には、私が言い出しっぺになってしまったのですが、とにかく協会として祝うのが当然だと考えた。ご提供くださった社名や支出の仕方については確認ができていなかったのは申し訳ないが、協会としてのお祝い事なので支出についても協会からでよいと考えました。私としてはどうしても協会としてお祝いしてあげたかったという思いだけで進んでしまったので、この点に関しては本当に申し訳ございませんでした。」

#### 渡邊諭

「いいですか。いただいておいてこんなことを言っは大変申し訳ないのですが、自分としては、協会からいただいたのは花束とお祝い金と考えていました。その他のお肉とかお米とかについては食肉センターからいただいたという認識なのです。それが、一転してお肉代などが協会から出るとなったら個人的には嫌な感じになります。というのが率直な思いです。なので、いただいたお肉などの分は協会にお戻ししなくてはならないのかなと考えています。」

#### 渡邊整

「私もいただいた身なので肩身の狭い思いなのですが、あの新年会ではものすごく多くの方がいらっしゃって、その中で、協会からと食肉センターからいただいたという認識をほとんどの方が持ったと思います。その中で、後からそれも協会からのお金だったということがあの時参加された方が聞いて皆さん納得されるのであろうかというのが私は心配です。協会からはすでに過分なるお祝いをいただいているので、その上でまた協会からとなると大変恐縮してしまいます。」

#### 阿久津理事

「質問ですが、差額分は法人会計にて支出となっているが、これはどの法人からですか？」

#### 専務理事

「これは、県協会の法人会計ということですよ。」

「協会の法人会計というのは、前回に理事会でもご審議いただきました。当初予算に含まれるものでしたら、その予算を執行することで都度決算報告を上げていただいています。例えば、今回のような当初予算化されていないものについては、専務理事決済や会長決済など実際にはあるが、全部が全部とは言わないがその都度理事会にかけ、承認を得る必要があります。特に金額の大きいものはなおさらです。」

「ただ、この案件を理事会にかけていないことがとても気になっていたもので、会長とも相談し、JBAに相談をしました。というのも、今年の一月に開催された全国専務理事会議において、協会資金の使い方など、理事会決議の重要性などについて説明があったので相談をしましたところ、厳しいご指導を受けました。その内容は、①この案件を事後承諾でもよいので直近の理事会に掛けること。②今後は、寄付（品物・お金など）については必ず事前に理事会にかけ、利益相反などに注意すること。③各種規定等が少々時代に合っていないようなのでこの一・二年で見直しを図ること。などの指導を受けた。終了後速やかに会長に電話にてこの件を報告した。この指導を受け、今後の協会運営に生かしていく。」

#### 会長

「皆さん、この件に関して承認いただけますか？」

「承認いただけないのであれば、この責任はやはり私にあるので、この277,920円については私が出します。なので、後日協会事務所のほうに持参します。そのような方向でいいですか？では、私が責任を取るということで・・・」

専務理事

「本当にそれでよろしいのですか？」

「先ほど申し上げたように、今後はJBAの指導の下にいろいろと協会改革を実施してまいります。今回の件については会長からの申し出通り受け取ってしまってよろしいのですか？」

日向野特任理事

「これは一般の会社でも同じだと思いますが、何かあったからといってその都度会長が自腹を切るといのはおかしいのではないかと。今回のことが慣例となった場合、次の会長も同様の対応をしなくてはならなくなり、それは避けるべきではないかと。先ほどのお話で、今後改めて協会の見直しを図ることなので、今回は特例ではあるが、協会からの支出として認めてもよいのではないかと。思う。」

専務理事

「私もそう思います。ちなみに、一つ教えていただきたいのですが、先ほどもありましたが、最初にこれを協会から支払ってもいいと判断したのは新年会の前ですか？後ですか？」

片桐副会長

「後です。」

専務理事

「後ですよ。これもおかしいですよ。」

会長

「私が聞いたのは3月です。」

専務理事

「そうですか。例えば、これが新年会の前に聞いていたのであれば、あの時提供者の方を言い間違えてしまったということもあると思いますが、新年会後の話となると話は別だと思います。おそらく、会長も片桐副会長も新年会の際はそれぞれJAさんと食肉センターさんからいただいたものだと思ってらっしゃったと思いますがいかがですか？」

片桐副会長

「私はそう思っていました。」

会長

「私ははっきりJAさんからの40万円の範囲内だと思っていました。」

専務理事

「中村さんに改めてその点を3月に確認したところ、新年会の前にはすでに40万円は使い切っていたという報告がJAの担当者の方からあったそうです。」

「いずれにせよ、今回は、日向野さんからもあったように会長の自腹にはせず、次回からはJBAのご指導にもあったように大変ですが理事会の承認を経たうえで、物品提供・物品購入など特に慎重にならざるを得ない場合にはその都度ご承認いただくことでいかがでしょうか？場合によっては対面での理事会だけではなく、zoom会議やメール・書面での理事会を開催することで都度ご承認いただくことになるかと思われます。その点をご理解いただいたうえで、今回のこの案件にご承認賜りたいのですがいかがでしょうか？」

これを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

第二号議案

直井役員候補者選考委員会委員長

「役員候補者選考委員会から次期会長として、現会長の小曾戸会長の留任を答申します。」

専務理事

「では特に質問等ないので、投票に移ります。」

「投票については、無記名でお願いします。書き終わった方は投票箱にお入れください。」

「では開票をお願いします。開票作業は、役員候補者選考委員会、大山委員と野澤委員をお願いします。」

大山委員

「それでは、開票結果をお知らせします。賛成多数により次期会長候補に小曾戸現会長が推挙されましたのでご報告いたします。」

専務理事

「では今、信任を得ましたので今後についてお知らせします。まず、新会長は現時点では候補者になります。あくまでも決定は6月30日の定時代議員総会にて決定されます。また、今後は今の役員候補者選考委員会に小曾戸新会長候補者を加えた形で理事の選考を開始してください。今までは、直井委員長が議長を務めてくださっていたかと思いますが、今後は小曾戸新会長候補者が座長になって話を進めていただきます。それぞれ提出されている代議員名簿の中からおよび学識経験者の中から理事の最低人数は5名となっていますので、少なくとも5名以上の理事候補者をお決めいただきます。決まりましたら、改めて理事会を開催し、現理事の皆様からのご承認をいただきます。その後、理事候補者の中から副会長・専務理事・常務理事等を決めていきます。実は、5月末に第1回の理事会を予定しているのですが、この役員候補者選考委員会の進み具合に行ってはその時期をずらさざるを得ないことも考えられますのでご了承ください。よって、次の理事会の日程等につきましては、追ってお知らせいたします。」

会長

「推薦いただきありがとうございます。お引き受けさせていただきます。なお、理事については前からお話ししています通り現在ご活躍してくださっている皆さんを中心に進めていこうと考えています。ただ、何名かは変わる可能性があります。それについては、今後の役員候補者選考委員会でご説明させていただきます。」

## 9.その他

菊地3x3委員会委員長

「4月末から5月5日まで3 x 3ワールドツアーオープナーからU O Q T 2までお世話になりました。日本代表は惜しくもパリオリンピックの切符を手にはできませんでしたが、事前クリニックの参加や、T O業務のお手伝い等皆様のご協力により無事に終了することができました。ありがとうございました。」

以上ですべての議案の審議を終了したので、午後7時25分に閉会した。

以上の議事の内容を記録し、これを証するため署名する。

2024年5月8日(水)

議 長

氏 名 小曾戸 和彦

議事録署名人

氏 名 佐藤 圭一

議事録署名人

氏 名 齋藤 宣子